

学術フォーラムの概要について（事後報告）

- 1 名称：「サステナブル社会への移行における資源循環の役割」
- 2 日本学術会議以外の共同主催団体等：
 - ・主催：日本学術会議材料工学委員会・環境学委員会・総合工学委員会合同サーキュラーエコノミーのための資源・材料の循環利用検討分科会
 - ・後援：独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構、公益社団法人化学工学会、環境経済・政策学会、一般社団法人環境資源工学会、一般社団法人軽金属学会、資源地質学会、日本LCA学会、公益社団法人日本化学会、公益社団法人日本金属学会、日本鉱業協会、一般社団法人日本鉄鋼協会、レアメタル研究会、早稲田大学循環バリューチェーンコンソーシアム、株式会社産業新聞社、株式会社セメント新聞社、株式会社鉄鋼新聞社、株式会社日本砕石新聞社
- 3 開催日時：令和6年11月22日（金） 13時30分～17時40分
- 4 開催場所：日本学術会議講堂
- 5 開催趣旨：

資源循環経済(サーキュラーエコノミー)は、直線経済(リニアエコノミー)から脱却するだけではなく、環境・社会・経済的要因が最適化された条件の下に作り上げられなければならない。その理念を社会実装化する過程に伴い生じる課題を、経済学から工学までの異なる視点から拾い上げ、これらを克服するために、非資源国である我が国の資源及び材料工学はどう進むべきかを問う。
- 6 参加人数：188名
講演者等：9名
その他の参加者：179名
- 7 特記事項：
 - ① メディアによる取材・報道等の状況
 - セメント新聞社：オンライン聴講により取材があり、取材記事はセメント新聞およびアグリゲイトにて掲載される。
 - 産業新聞社：取材内容は「日刊産業新聞」とそのデジタル版に掲載される。
 - ② このフォーラムで話題提供のあったテーマを中心として、主催となっている分科会委員会により意思の表出を見解、報告などとしてまとめ、提出する計画がある。

※ 記載はA4用紙で1枚以内とし、その他必要があれば関連資料等を添付